

議会だより

ひだか

第158号

令和元年 7月25日



クエッコランドの『七夕会』

プレミアム付商品券事業の実施	補正予算	2～3
第3学童保育所を開設	条例改正	4
洋上風力発電計画に不安	一般質問	5～7
ファミリーサポートセンター視察	委員会レポート	8

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai001@town.wakayama-hidaka.lg.jp

6月定例会

第2回定例会は6月13日から21日まで、9日間の会期で開催した。

今定例会には報告5件、議案11件が提案され、慎重審議の結果、それぞれ原案のとおり可決した。

一般会計補正予算

既定の予算額に9257万2千円を追加し、総額44億1446万7千円とする。

— 主な内容 —

【歳出】コミュニティ助成金で250万円。低所得者・子育て世帯プレミアム付商品券事業費として5855万2千円。保健福祉総合センター内への学童保育所開設に係る学童保育業務委託料で828万4千円。同一整備品購入費で257万3千円。第一学童保育所進上路と国道42号との交差点改良のための測量設計委託料で97万2千円。ため池等整備事業負担金で455万8千円。中山間総合整備事業負担金で151万3千円。私立幼稚園施設型給付費負担金で1251万4千円など。



第3学童保育所を開設する保健福祉総合センター

低所得者・子育て世帯プレミアム付商品券事業費の説明を。当初予算では事務費用のみを計上

していたため、追加計上をするものである。住民税非課税または、3歳児未満の子どもがいる世帯が対象となる。(6月現在で対象となるのは1891名であるが9月30日までに出生または転入した子どもも対象になるため、これより増加が見込まれる。) 購入までの流れは、①対象となる住民税非課税者に申請書を送付。②購



早期改良が望まれる第1学童保育所進上路

入引換券交付申請書を役場に提出。③役場から購入引換券を発送。④引換券と交換で商品券を購入。(3歳児未満の子どもがいる世帯は③から) なお、商品券の使用は10月1日から来年3月末日までとなる。

指導員3名体制の保育業務委託料と消耗品など運営に必要な額として、828万4千円を計上した。開設の時期については、夏休み前を予定している。

学童保育業務委託料の説明を。保健福祉総合センター内に、第3学童保育所を開設するために係る経費である。

学童保育費測量設計委託料の説明を。

内原小学校隣接の第1学童保育所への進上路について、国道との交差点部分が狭くて危険なため、一部拡幅と併せて交差点改良をするた

めの測量設計費である。河川国道事務所と協議・検討を続けてきた中、当初計画より簡易で安価な工事方法を探ることで協議が進展したため。

今年度中に工事まで完了したいと考えている。

教育課長 御坊市の学校

法人本願寺学園御坊幼稚園が、子ども子育て支援法の定めによる施設型給付の幼稚園に移行したことに伴うものである。対象となる児童の年齢と人数は、4月現在で3歳児が4名、4歳児が4名、5歳児が3名の合計11名となっている。財源の内訳は、国が450万4千円、県が40

0万4千円、町が400万6千円。

教育課長 小学校統合推進委員

報償金の説明を。実際して、学校名や校歌、また制服など諸々の調整を検討するための、小学校統合推進委員8名分の報償費である。比井小・志賀小の学校

長、PTAの代表、学識経験者など、計10名以内の委員で組織する予定であるが、報償費については比井小・志賀小の学校長は対象外となる。選任の時期については、本議案が可決後、速やかに行う予定である。

活動報告

産業教育常任委員会は、

去る4月17日、久志・中志賀地区ほ場整備事業と小浦地区ほ場整備事業について、産業建設課から説明を受けた。

久志・中志賀地区は総事業費4億6200万円、受益戸数42戸、受益面積10・6ha、令和5年度に完了する予定である。

また、小浦地区は総事業費2億8000万円、受益戸数37戸、受益面積10・9ha、令和6年度に完了する予定である。

どちらも県営事業として実施され、負担率は国55%、県30%、町7・5%、受益者7・5%である。

本事業は農地の集積を図ることが主目的であるため、農業委員会の役割も重要であるとの説明があった。

委員からは、農地の集積を行う本事業の完成により、耕作放棄地の減少や後継者不足の解消に期待する意見があった。

また、排水路の改良により下流域への悪影響を懸念する質問には、志賀川の早期改修を要望していくとの説明であった。

工事請負契約

農村環境改善センター改修工事

契約金額 8205万8400円

契約の相手方 株式会社中村建設

5月31日、8社による指名競争入札の結果、株式会社中村建設が落札した。

落札率 93・80%

工期 令和2年3月31日

農村環境改善センター空調・電気設備改修工事

契約金額 7095万6000円

契約の相手方 紀南電設株式会社

5月31日、7社による指名競争入札の結果、紀南電設株式会社が落札した。(低入札であったため、低入札価格調査を実施した。)

落札率 46・70%

工期 令和2年3月31日



改修される農村環境改善センター

小浦地区



久志地区

ほ場整備予定地

条例改正

日高町税条例

◇ 6月1日以降のふるさと納税について、国が定めた基準を満たした市町村への寄付だけが税額控除の対象となる

◇ 軽自動車税の種別割（現行の軽自動車税）について、税の軽減制度を2年間延長する。環境性能割（現行の取得税）について、令和元年10月1日から2年9月30日までに購入したものについて1%税率を軽減する。

◇ 消費税引き上げ後の住宅取得に対する住宅ローン控除の期間を10年間で13年間に延長する。

国民健康保険 税条例

◇ 基礎課税額の賦課限度額を58万円から61万円に引き上げる。

◇ 法定軽減を拡大する。

学童保育所 設置条例

◇ 日高町保健福祉総合センターに第3学童保育所を開設する。

問 定員は。
教育課長 40名を予定している。

問 施設面積は。
教育課長 元のデイルームと和室の合計75㎡である。
問 対象児童は。

教育課長 年度当初に待機していただいている児童に優先的に入所していただく。

問 2つの学童保育所に1つの家庭から通うということにもなり得るといふ点は、検討する必要があるのでは。

教育課長 現時点では、2カ所への入所をご了解いただくかねばならないと考えている。

問 通所の方法は。
教育課長 通学バスの利用を計画している。



保健福祉総合センター内に第3学童保育所を開設

保健福祉医療費の支給に関する条例

◇ 8月1日から精神障害者保健福祉手帳1級の方が、和歌山県の重度心身障害児者医療の対象となる。

介護保険条例

◇ 第1段階、第2段階、第3段階の被保険者の介護保険料を軽減する。

介護保険料（月額）改正

所得段階	改正前の保険料	改正後の保険料
第1段階	2,970円	2,475円
第2段階	4,950円	4,125円
第3段階	4,950円	4,785円

訃報



故 玉井 博和 議員

6月9日、玉井博和議員が急逝されました。謹んで哀悼の意を表します。

議会の構成

玉井議員の死去にともない、議会構成の一部変更がおこなわれた。

○ 欠員の補充

議会運営委員会

榮 茂美

産業教育常任委員会

清水 正巳

○ 副委員長の選任

産業教育常任委員会

副委員長 清水 正巳



議員 榮 茂美

鳥獣被害の対策を 町長 捕獲を柱に取り組み



野生動物のワサ場をなくす取り組みを

榮 日高町の鳥獣被害状況はどうなっているのか。
町長 水稲・果樹の被害が主で、平成21年度の被害面積と被害金額は、751a、1158万6千円、26年度は563a、910万7千円、29年度は、411a、772万円で、少しずつではあるが、減少傾向にあると考える。

榮 それは数字上のことであって、農家の方々は鳥獣被害は拡大していると言っている。
町長 そういう意見も聞くので、引き続き、被害防止に取り組んでいきたい。

榮 県報告会では、日高町内に二ホンザル261匹の最大級の群れが存在し、それも若いサルが多い。出生率は62%で動物園並みとのことである。問題は、町内にサルのワサ場が多いからではないか。
町長 今後は、サルのワサ場の調査をして、撤去していくことが大事だと考える。

榮 鳥獣被害対策のため緩衝地帯として11haを伐採整備したが、地元地区の維持管理が大変である。
町長 雑草を食べるヤギの放牧、野生動物を追い払うモンキードッグ、LED鳥獣忌避装置の導入を求める。
町長 飼育管理の問題や地区から具体的な要望もないので、今は導入を考えていない。
榮 LED鳥獣忌避装置の設置を希望する農家もあるのですが、早急に試してその効果の検証をお願いしたい。

温泉館と西山の活用を求む

榮 昨年度の温泉館入館者数は。
町長 3万9074人である。

榮 西山は朝日夕日百選に選ばれ、6カ所の散策エリアの他に日高町民の森もある。山の自然の美しさ、様子、話題といったものを町が情報発信してもらいたい。
町長 西山を日高町の観光資源としてPRしてきたいが、大事なことから検討する。

町長 町内保育園児の絵画展示、スタンプイベントの実施、軽トラック市の開催、町内60歳以上の方の入館料半額利用などの取り組みを継続して実施していく。
榮 海水浴と温泉で集客があるのなら、西山を活用したハイキングと温泉での集客はどうか。
町長 私も集客に繋がるものと考えているが、具体的な企画立案までいたっていないのが現状である。

榮 まずは西山の施設、看板、地図、道標、カーブミラー等の点検整備をお願いしたい。
町長 状況を調査し、補助事業で対応できないか検討する。
榮 西山を日高町の観光資源としてPRしてきたいが、大事なことから検討する。
榮 子ども達を西山や温泉入浴に無料招待して、日高町の良さを理解してもらうことも大事ではないか。
町長 子どもの入浴無料は、ある期間をつくって、今後考えて行きたいと思う。
榮 温泉館行きの公共交通手段がないが。
町長 老人会などで温泉館へ行く場合は、町のバスで無料送迎しているのを利用してもらいたい。

宮本 雅文 議員

職員の接遇マナーの徹底を 町長 丁寧な対応を心がけるよう指導する



受付風景

宮本 役場の日常業務はサービスマンではないのか。私は10日の間に2人の人から苦情を聞いた。1人は、窓口に行った時に気が付いてくれない。そのあげく担当者がいないと断られた。もう1人は、

提出書類の様式が違ったり行き違いになった。私も10年程前に2人分を1回で味わった。1つの手続きをするのに3日もかかった。1日目は担当者が休み、2日目は席を外している、3日目は

必要書類の様式が違ったり言われた。しかし、監督官庁に問い合わせると代用書類でも良いとのことであった。これは、役場担当者の書類に対する認識が不十分、なぜその書類が必要なのか分かっていない。

表に立つのはほんの一部である。町民の皆様が気持ち良く来庁し、帰って頂くのが最高のサービスであり、最高のおもてなしであると考え、町長はどうか。

町長 町民の皆様には気持ちよく来庁して頂き、帰って頂くのも重要な住民サービスである。
職員 に対しては、来庁された皆様に、丁寧な対応、挨拶や声かけを日々心がけるよう指導し、又、おもてなし

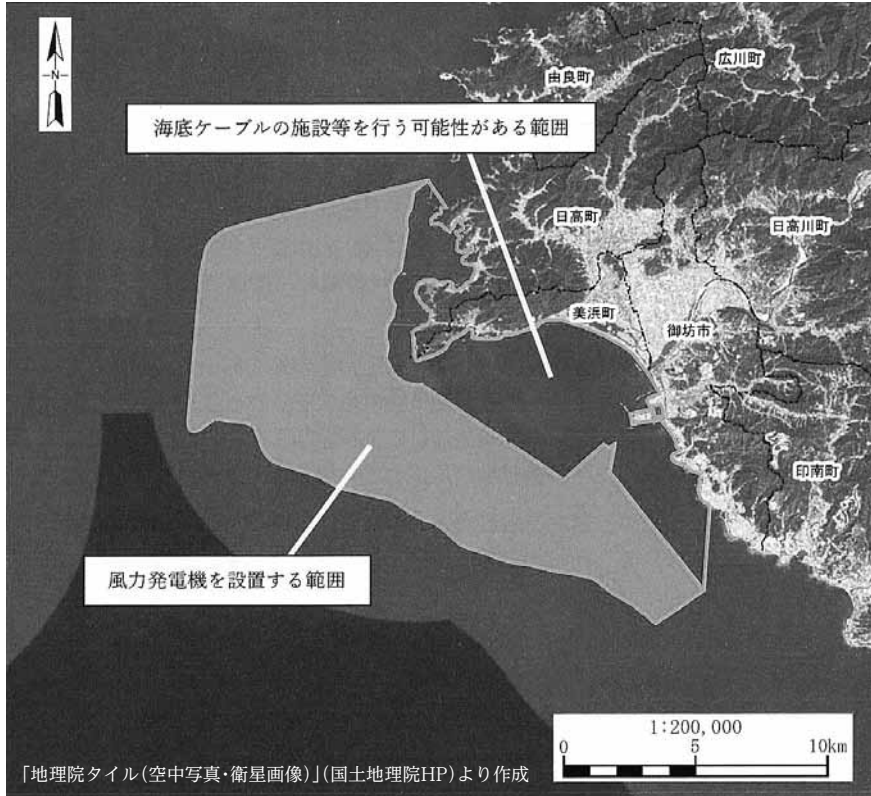
研修、接遇マナー研修等知識をつけるために、様々な研修に参加させている。
町長 対応に不満を抱かれたということなので真摯に受け止め、今後そのような事が起こらないよう来庁された方には常に気を配り、迅速で確かな対応をさせて頂くとともに皆様に信頼して頂けるよう取り組んでいく。
宮本 おもてなし研修、接遇マナー研修を実施しているとの事であるが、研修の成果を発揮してこそ研修の価値がある。
全職員 に徹底して頂き、日常業務に励んでいただければ、素晴らしい日高町役場になると思うが、町長の考えはどうか。
町長 研修をしている限り、自覚して、町民の方に対してそれぞれ個人がしっかりとマナーで対応する事が大切であり、今後、より一層指導並びに取り組みを深めていきたい。
宮本 担当者不在の時の対応はどうか。
町長 職員が積極的に挨拶、声掛けをしたり、周囲に気を配り、担当者が不在の時は、職員間で連携をとり、関係各所へ問い合わせをし、何度も来庁されることのないよう取り組んでいく。
宮本 声を掛けられれば安心出来るし、また横の連携も大変大切である。町長はどう考えるか。
町長 声掛けは大切であり、横の連携を密にして町民の方が気持ち良く来庁して頂けるよう心掛けていく。
宮本 職員の中には素晴らしい挨拶をしてくれる方もいる。一つ悪い事があると全てが悪いように思われがちである。このように素晴らしい職員もいる事を報告させて頂く。





西岡 佳奈子 議員

洋上風力発電計画、不安が大きい 町長 例のない大規模事業に不安



大規模な洋上風力発電計画 (パシフィコ・エナジー提供事業概要より)

西岡 今年3月、日高町、美浜町、御坊市の沖合に洋上風力発電事業の計画が公表された。

最大150基・75万kW、1基の最大の高さが260m、桁違いの計画である。

環境影響評価配慮書に対する知事意見は、「事業計画の熟度は低い」、

「適切な計画段階環境配慮がなされているとは言いがたい」とし、「事業計画の更なる検討に当たっては、まず、配慮書の内容全般を見直した上で「適切な措置を講じることを求めるなど、厳しいものとなっている。」

町長 2月4日、パシフ

イコ・エナジー株式会社より、建設開始予定2022年、商業開始予定2025年との説明があった。今後、環境影響評価の手続きが進められる。

西岡 住民・自治体の意見反映は。

町長 環境影響評価方法書の手続き時に説明会が

あり、意見を述べる事ができる。
西岡 許認可権はどこにあるか。

町長 大きなものとしては、環境省による環境影響評価、経済産業省による事業計画の認定、海上の占用許可は国土交通省と和歌山県がある。現在、県にこの条例がないので新たな条例制定が必要となる。

西岡 勉強すればするほど不安が大きくなるが、町長は。

町長 国内で例がなく、大規模事業であり、不安が大きい。

西岡 全国的に20Hz以下の超低周波音による健康被害が問題となっている。発生源の構造物が大きいということはその音圧も大きい。海岸部の民家や老人ホームなどの距離も近く心配がある。

海上であることの関係では、台風・地震・津波などによる倒壊などの心配があると思うが。

町長 計画を最初に聞いて

た時に、まず、紀伊水道の台風に耐えられるのか不安に思った。民家もあり、どんな形で健康被害が出てくるかもわからないので、調査・研究していかなければならないと思っている。

西岡 山の尾根への建設の場合には、地元関係者の同意がなければ、県知事が林地開発許可をしないという仕組みがあったが、洋上の場合はどうか。漁師さん、地元区、町長が反対すれば事業は止まるか。

町長 正当な手続きを経た場合には、止めるのは難しいとも聞か、住民の思いがあると思うので、何ができるか調査・研究を進めたい。

西岡 内容把握と町民への周知、町民の立場に立った対応を。

— 他の一般質問 —
・引きこもり支援を
・消費税増税ストップの声を地方から

委員会レポート

総務福祉常任委員会

ファミリーサポートセンター視察

総務福祉常任委員会は去る4月26日、子育て支援事業として、御坊小学校内に設置されている御坊市ファミリーサポートセンターを視察し、御坊市役所社会福祉課、御坊市ファミリーサポートセンターの担当者より説明を受けた。

このセンターは地域において育児の援助を受けたい人（利用会員）とその援助を行ないたい人（スタッフ会員）が会員となり、育児について助け合う会員組織である。運営についてはNPO法

人コムデザインが運営している。

現在、加入自治体は御坊市、日高川町、日高町の1市2町である。

主な援助としては、保育所や習い事への送迎、保育や学童保育終了後の預かり、外出時の預かりなどを行っており、好評なことであった。

平成31年3月末時点の日高町の登録会員は利用会員43名、スタッフ会員10名、両方に登録している会員4名、合計57名、また、全体としては利用会員200名、スタッフ会員64名、両方会員12名、合計276名であった。利用件数に対し、実際に援助できるスタッフ会員が不足しているため、増やしたいとのことであった。

県内で日高地方は設置が遅い方であったとのことであった。

送迎中の事故は今のところないようであるが、基本的にはタクシーでの送迎である。相互の了解の下、会員所有の車を使うこともできるらしいが、その時の事故については会員の自動車保険を使うらしい。他のサポートに対してはセンターでも保険を掛けている。

視察の中で、「この1時間か2時間だけ、どうしても子どもをみてほ

い程としては、利用会員として登録の際、スタッフ会員との相性を確認するため、マッチングという段階を経て、基本的には一対一の支援とのことであった。その上で、実際の利用に際しては、センターへ申し込み、サポートを受けた後、所定の料金を直接、スタッフ会員に支払うということであった。利用料金は1時間600円を基本に緊急な場合等は割増料金が加算される料金体系となっている。

「ファミリーサポートセンターを困った時の保険と考えてもらってもいいのではないか。」とも話していた。

今後、町としても子育て世帯のサポートとして、さらに周知できるように努



担当者より説明を受ける

力していただきたい。

常任委員会の活動計画

各常任委員会は次回定例会までに次の項目について調査研究を行います。

- ・ 総務福祉常任委員会
- ・ 防災について
- ・ 保育所運営等について
- ・ 産業教育常任委員会
- ・ 温泉館の運営について
- ・ 学童保育の今後について

編集後記

農家の皆さんにとっては、田植えも終わり、一休みの時期ではないでしょうか。秋の豊作を祈りつつ・・・また、次の作業に向け準備されている方もおられると思います。

さて、この時期は高温多湿であり、水分補給には充分ご注意ください。汗をかいても体温が下がらない事が多く、さらに、のどの渇きがなくても水分不足になっている事があります。ご自身の体を大切に考え、体調管理には充分ご留意ください。

辻村 昌宏

